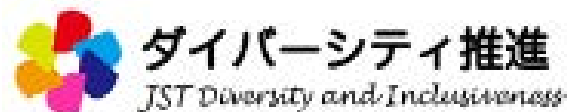


# JSTファンディング事業における ダイバーシティ推進

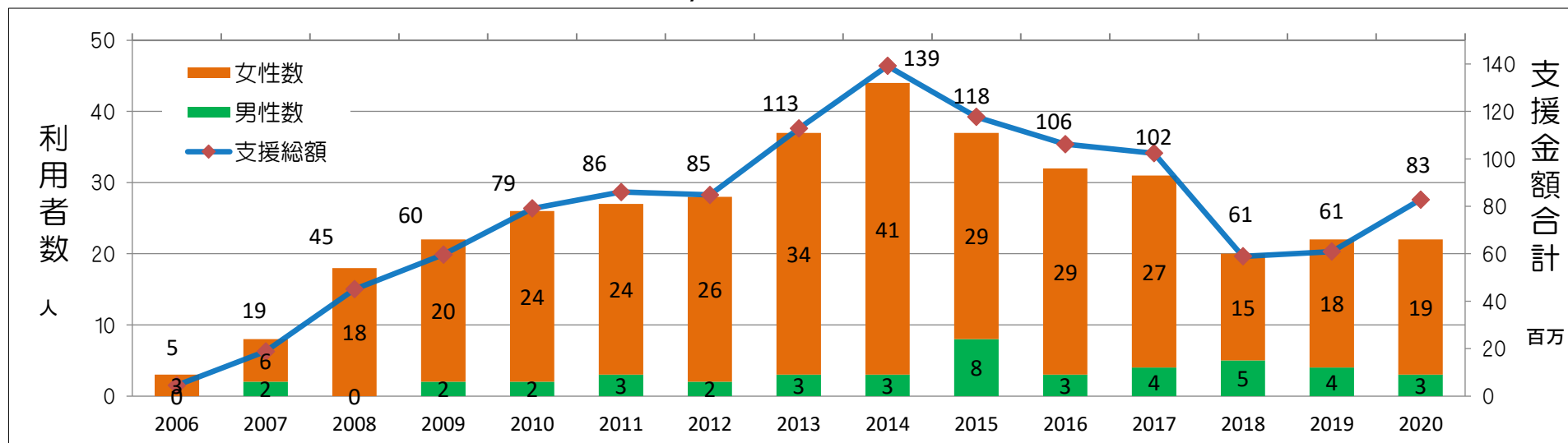
2020年度 ダイバーシティアドバイザー委員会資料から抜粋、一部改変



# 出産・子育て・介護支援制度

- 支援人数、金額ともに、AMED移管（2015年4月）以降の減少傾向は2019年度で下げ止まっている
- 2020年度は制度改善により支援金額が増加。今後は本支援制度利用に向けて、JST全体で各事業での周知を進める

【制度概要】✓ JST事業参画研究者が、ライフイベントに際し研究開発活動の継続に係る支援  
 ✓ 研究費を手当て（最大30万円/月、9歳まで—2020年度より制度改善）



## 用途例

- 研究開発機関での実験補助者の雇用経費
- 研究開発促進の為の消耗品・機器類購入
- 学会・研究会等へ参加するため臨時的に要する託児費用・研究補助員の雇用経費等（研究開発機関が研究遂行上の必要性を認める場合）

# CREST研究代表者・さががけ研究者等のライフイベント支援

2019～ACT-X、2020～創発事業で研究期間中断、延長において事業毎に要望に応じた支援制度を導入

【制度概要】研究代表者等に2週間以上の連続した休暇を必要とするライフイベントが発生した場合の支援

## ➤ チーム型研究(CREST、ERATO)の研究代表者、研究総括

## ➤ 個人型研究(さががけ、ACT-X、創発的研究支援事業)の個人研究者

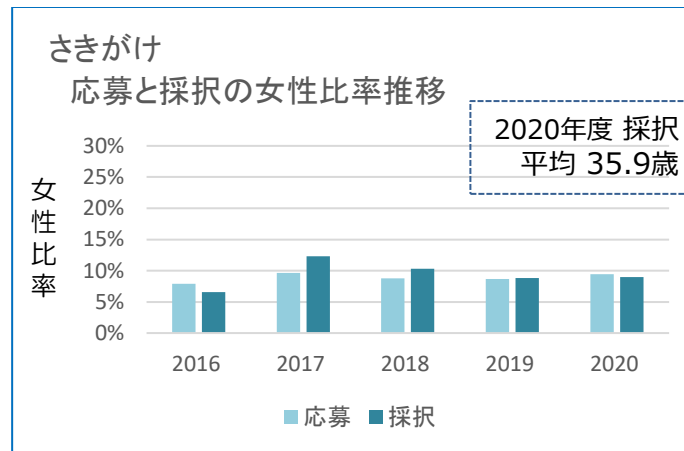
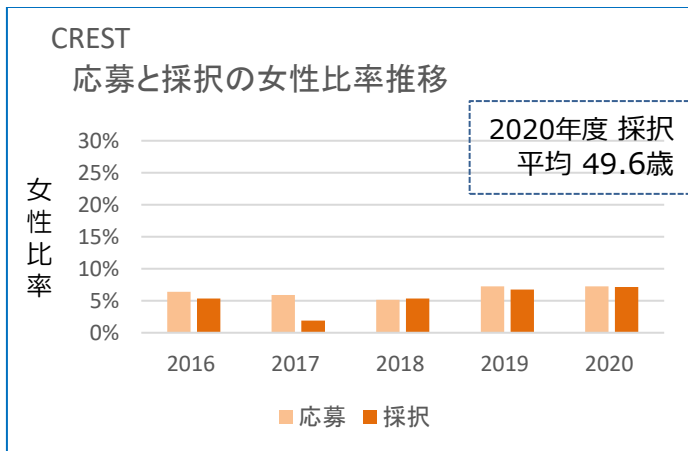
|          |  |
|----------|--|
| 期間中の対応   | 研究代表者、研究総括に代わりその役割を担える者が代行して引き続き研究を推進することができる。 |
| 研究期間の延長  | (チーム型研究のため)研究期間は延長しない。                         |
| 研究費の取り扱い | (チーム型研究のため)チームとしての研究費は当初計画通りの予算額を使用できるものとする。   |

|          |  |
|----------|--|
| 期間中の対応   | 研究を中断することができる。<br>さががけ: 週単位で中断<br>ACT-X : 休暇・休業期間に応じて中断<br>創発 : 週単位で中断                         |
| 研究期間の延長  | 研究を中断した場合は、研究期間を延長できる。<br>さががけ: 中断した週数を限度として週単位で延長<br>ACT-X : 1年間延長<br>創発 : 中断した週数を限度として週単位で延長 |
| 研究費の取り扱い | 研究費は当初計画通りの予算額を使用できるものとする。   |

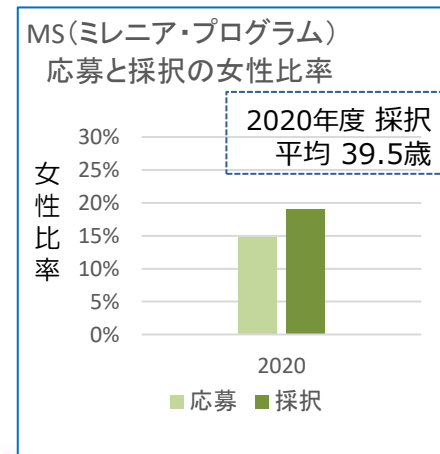
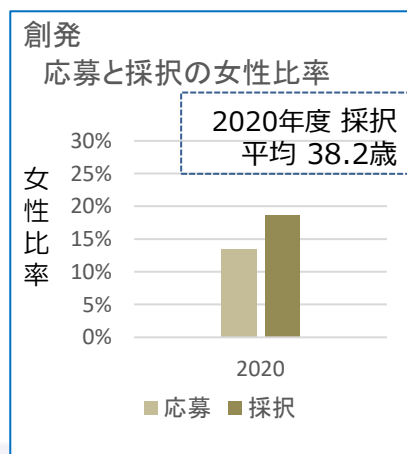
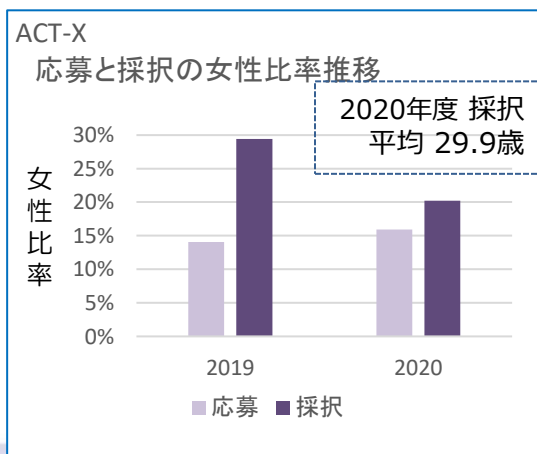
# 主要各事業への応募と採択の女性比率推移

各事業で女性研究者の応募・採択は、ともに低い傾向。そのような中、若手研究者に焦点を当てた新規事業として、ACT-X（15%、25% — 2年平均）、創発的研究支援事業（13.4%、18.7%）に効果が見られた

・年齢制限を設けていない従来の事業・・・応募、採択ともに概ね女性比率が10%に満たない



・若手を対象とした新しい事業・・・応募、採択ともに女性比率が10%を超える

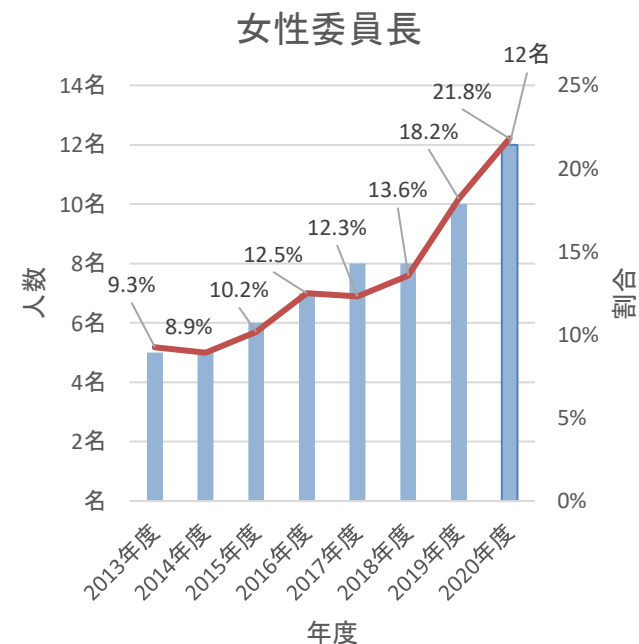
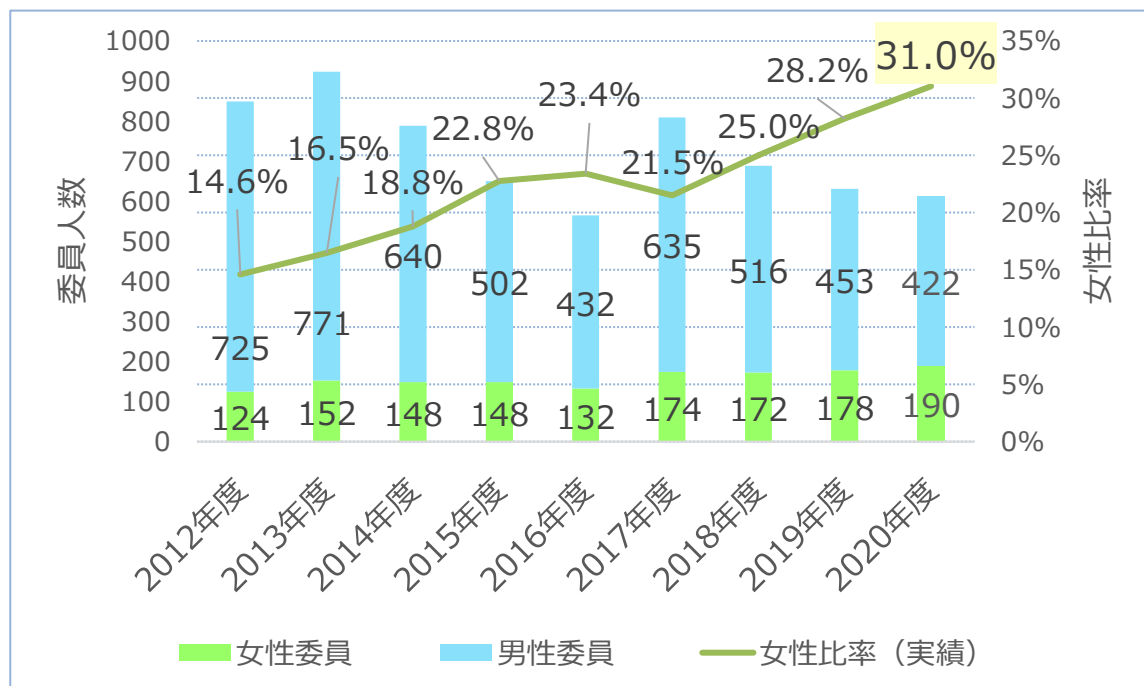


# 委員会等における女性比率 推移と取組

JST全体では2019年度末に28.2%、2020年度末に31.0%を達成

【取組概要】委員に外部有識者を含む委員会等の女性比率30%を目指す(2020年度)

- 2020年度末(2021年3月)に全体で31.0%を達成。委員長は21.8%
- 各担当部署からの要請により人材を紹介するなどダイバーシティの確保に努めてきたが、今後は個々の委員会等においても女性の占める割合が少なくとも30%程度となるよう取り組む



- ・2016年度は、単年度開催のジェンダーサミット10関連委員会(44名、女性70%)を除いた
- ・2019年度以降、委員会の定義を精査